



中津原地域づくり計画

むすぶ
「 結 」

人を結ぶ 世代を結ぶ 地域を結ぶ 夢を結ぶ 縁を結ぶ 心を結ぶ

中津原地域コミュニティ協議会 | 2025年10月28日

目次

はじめに1
中津原地域について2
人口推移3
本計画策定の経緯4
地域の将来像5
協議会全体での取り組み6
分野別の取り組み 7～10
【1. 交流・遊び・学び】	
【2. 農と自然】	
【3. 地域の宝づくり・宝さがし】	
【4. 福祉・見守り・防災】	
計画の推進11

はじめに

この度、私たちの地域コミュニティ協議会は、地域の皆様とともに未来を築くための「地域づくり計画」を策定いたしました。

この計画は、これまで地域を支え、育ててこられた先人の皆様への感謝と、これからもこの地で暮らし続ける私たち、そして未来を担う子どもたちのためのより良い地域づくりを目指す、私たちの想いの結晶です。

人口減少や高齢化、そして自然災害など、私たちの地域を取り巻く環境は常に変化しています。

しかし、困難に直面しても、この地域の持つ豊かな自然、温かい人情、そして脈々と受け継がれてきた文化は、私たちの大きな誇りであり、未来への希望です。

本計画は、地域の課題を共有し、多様な世代、多様な立場の方々が連携し、それぞれの知恵と力を結集して、住みよい地域を創造していくための羅針盤となることを目指します。

本計画が、地域の皆様にとって、地域への愛着を深め、共に未来を切り拓くための対話のきっかけとなり、地域を構成するすべての世代、すべての組織、すべての個人が手を取り合い、持続可能な地域づくりを推進していくことを心から願っております。

笑顔あふれる地域を次世代へとつないでいくために取組を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中津原地域について

中津原地域は、香春町の南に位置し、大坂山（飯岳山）の山塊に見守られている平地が多い地域です。

「中津原」という地名は、鎌倉期よりムラの地名を宇佐神宮領として、「勾金庄中津原」と、古文書に記録されており、ムラの始まりは、鎌倉期か、またはそれ以前だと考えられています。（郷土史誌かわら第六十六集より）

中津原地域には、明治22年まで中津原村と柿下村がありましたが、明治22年に中津原村、柿下村、鏡山村、高野村との4つの村が合併し、勾金村となりました。その後、勾金村は、香春町が誕生した昭和31年まで続きました。

中津原地域の学校の歴史は、古くは明治7年に柿下小学校（柿下地藏堂）と中津原小学校（二郎丸屋敷）で始まり、明治13年に柿下小学校を吸収する形で中津原小学校が設立されました。明治22年の村の合併により、学校も勾金尋常小学校と改称されましたが、その後、香春町が誕生したのちの昭和33年に新たに中津原分校が設置され、翌34年に香春町立中津原小学校として独立しました。



大坂山からの中津原地域

人口推移

中津原地域は、下記の表の13の行政区で構成されています。

下記表では、平成28年から10年間、人口の推移を記載しています。地域全体で、10年間で673人減少しており、今後も減少していくことが予想されています。

世帯数は、1,691世帯で、高齢化率は、41%です。(令和6年度時点)

●旧中津原小校区 行政区別人口の推移

各年3月31日時点 (人)

行政区/年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年	増減率 (H28と R7の比 較)
浦松	121	118	120	117	115	105	102	99	98	89	-26.45%
柿下	559	544	539	527	506	484	474	460	449	452	-19.14%
中津原	282	283	289	299	303	296	293	277	289	279	-1.06%
紫竹原	234	230	217	211	199	194	190	191	186	189	-19.23%
南紫竹原	222	211	200	203	203	204	198	199	191	188	-15.32%
不動	284	276	291	281	264	270	271	250	236	233	-17.96%
鎮西	181	172	178	167	160	155	158	160	158	146	-19.34%
一本松	1,045	1,045	1,018	998	997	978	967	943	948	916	-12.34%
上清団地	189	186	126	118	114	113	101	98	93	82	-56.61%
東紫竹原団地	160	158	157	149	143	139	146	134	119	119	-25.63%
平成区	199	195	186	170	155	156	148	147	136	131	-34.17%
三井	209	202	212	203	190	221	226	219	227	205	-1.91%
高松団地	150	145	142	141	146	149	146	146	138	133	-11.33%
合計	3,835	3,765	3,675	3,584	3,495	3,464	3,420	3,323	3,268	3,162	-17.55%

本計画策定の経緯

この「地域づくり計画」は、地域の皆様から寄せられた貴重なご意見やアイデアを基に、中津原地域運営組織設立準備会中心となり、私たちが目指すべき地域の姿と、その実現に向けた具体的な取り組みをまとめたものです。令和6年秋より多くの方との話し合いを積み重ね計画を策定しました。

開催日	内容
令和6年9月24日	地域活動についての意見交換会
令和6年10月29日	第1回中津原地域運営組織設立準備会
令和6年11月26日	第2回中津原地域運営組織設立準備会
令和6年12月15日	第1回中津原みらいサミット
令和7年1月20日	第3回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年2月3日	第4回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年3月10日	第5回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年4月7日	第6回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年4月13日	第2回中津原みらいサミット
令和7年5月12日	第7回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年6月2日	第8回中津原地域運営組織設立準備会 中津原集学校館内見学
令和7年7月7日	第9回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年7月30日	第10回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年8月21日	第11回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年9月8日	第12回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年9月15日	第3回中津原みらいサミット
令和7年9月29日	第13回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年10月14日	第14回中津原地域運営組織設立準備会
令和7年10月28日	第1回中津原地域コミュニティ協議会役員会 地域づくり計画及び協議会規約の策定

地域の将来像

BAL（BAR,バル）とは、スペインやイタリアなどの南ヨーロッパに起源を持つ飲食店を指します。同時に、人々が集い交流する大切な場でもあります。

中津原集学校やコミュニティ協議会がそのような BAL の役割を担い、地域皆さんを結びながら、「美味しい」「楽しい」「あったかい」と感じられる魅力溢れる中津原を、みんなで共に育んでいけることを願っています。

おいしい 楽しい あったかい
みんなを結ぶ
なかつ BAL



中津原集学校外観

地域総合マップの作成

地域の魅力や資源、特徴などを知ることができるマップの作成をおこない、一人ひとりが地域の事を知ることによって、安心して暮らしやすい地域づくりを目指します。

【地域総合マップの掲載予定内容】

- ▷危険箇所等が分かる 防犯・防災マップ
- ▷習い事や子育てに関する情報が分かる 子育て支援マップ
- ▷商店や生活に関する情報が分かる 暮らしの情報マップ
- ▷土地（主に農地）の分布が分かる 農地マップ



中津原のお米

1 交流・遊び・学び

分野目標

ふらっと 自由に 誰でも

地域の課題

① 地域イベントがなくなり住民の交流がなくなった
② 知らない人が多い
③ つながりがなく近所付き合いがしにくい
④ 遊び場が少ない
⑤ 公民館が利用しづらい
⑥ 子どもが外で遊ばない、子どもの姿を見ない

具体的な取組み		実施期間		
		短期 1年～ 3年	中期 4年～ 7年	長期 8年～ 10年
1	多世代が交流できるイベントや教室をおこなう	●		
2	みんなが交流できる場所をつくる	●		
3	地域情報が集まる場、発信する場をつくる	●		
4	誰でも使えるレンタルスペースを整備する	●		
5	中津原集学校をみんなの拠点にし、地域で盛り上げる	●		
6	公民館の利用方法の整理と活用方法を行政区と検討する			●
7	誰でも参加できる子ども会活動をする		●	

2 農と自然

分野目標

Challenge the Action !

チャレンジ・ザ・アクション

地域の課題

① 空き農地（耕作放棄地）・放置竹林問題
② 農業問題 農機の貸し出し支援が少ない
③ 獣害対策 わなは貸してくれるけど、その後の対応がない
④ 獣害被害が怖い

具体的な取組み		実施期間		
		短期 1年～ 3年	中期 4年～ 7年	長期 8年～ 10年
1	農や自然を体験・交流できる場所をつくる	●		
2	野菜作りやお米作りなどを教えてもらえる環境をつくる	●		
3	集学校の近くに地域農園などをつくる	●		
4	地産地消を推進し、地域全体で食育に取り組む		●	
5	農具や農機具が貸出できる仕組みを検討する		●	

3 地域の宝づくり・宝さがし

分野目標

探す、残す、創る、ナカツバる

資源・歴史 / 伝統・知恵 / 新しい文化

地域の課題

- ① 地域にどんな資源があるか知らない
- ② 鶴岡八幡等伝統行事の継承人材の不足
- ③ 柿下温泉が無くなって寂しい

具体的な取組み		実施期間		
		短期 1年～ 3年	中期 4年～ 7年	長期 8年～ 10年
1	柿下温泉が復活できるよう地域で活動する			●
2	地域資源を活かした特産品づくりを行う	●		
3	地域の伝統文化等に誰でも参加しやすい環境作りをおこなう	●		
4	地域のいいところを探して、たくさんの人に知ってもらう	●		

4 福祉・見守り・防災

分野目標

**共に支え、共に守り、共に助け合える存在に
一人ひとりが出来ることを！！**

地域の課題

① 買い物（場所）する場所が少ない
② 交通の便（移動手段）が悪い
③ 一人暮らしの高齢者が増えていて心配
④ 今後（老後）の生活が不安
⑤ 道が狭くて危ない

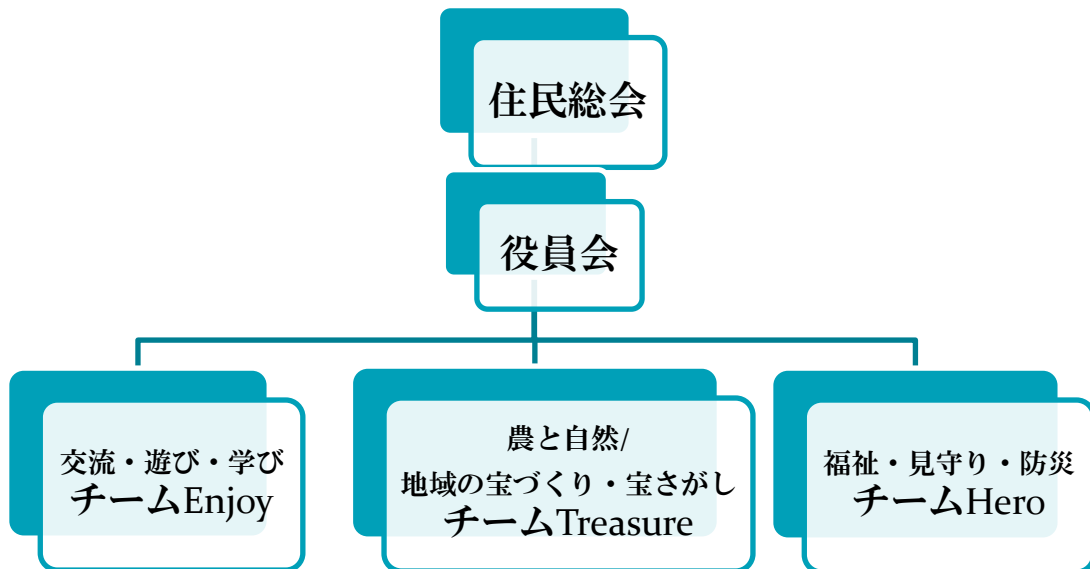
具体的な取組み		実施期間		
		短期 1年～ 3年	中期 4年～ 7年	長期 8年～ 10年
1	地域の声を聴き、地域で支え合える交通支援を考える	●		
2	地域で取り組める買い物など生活支援を考える	●		
3	有事備えとして、資源の活用や知識が学べるサバイバル体験等を実施する	●		
4	防犯や防災のテーマを決め、取り組みや啓発をおこなう	●		
5	行事や情報など消防団と共有し、災害に備えて地域全体で取り組める活動をおこなう	●		
6	地域あいさつ運動をおこなう	●		

計画の推進

【計画の実施期間及び具体的な取組みの進め方】

本計画は、令和8年度から令和17年度までの10年間を実施期間とし、中津原地域コミュニティ協議会が中心となり取組みを進めるものです。分野ごとの取組みについては、取組みを進めるためのチームを設置し、各チームを中心に、住民や団体の参画や協力を仰ぎながら進めていきます。実施期間を目安とし、実施状況や実情に応じて計画は柔軟に変更ができるものとします。

【組織体制】



地域づくりは、特別な誰かだけのものではなく、そこに暮らす私たちみんなの手で育てていくものです。一歩ずつの取組みが、やがて地域全体の活力となり、次の世代へと受け継がれていきます。地域の強みを生かし、課題を共有し合い、未来に向けて歩みを進めるためには、地域に住む人々の一人一人の支援の持ち寄り、積み重ねによって実現されます。今後も、様々な方の協力と対話によって、この中津原地域がこれからも引き継がれていくことを期待します。